

# 報道資料

令和5年2月21日  
(更新日：令和5年2月24日)

## 令和4年度人事院総裁賞（第35回）受賞者の決定について

～ 国民の生活・安全を支えるプロフェッショナルの表彰 ～

人事院は、本年度の人事院総裁賞の受賞者（個人：1名、職域：4グループ）を以下のとおり決定しました。

2月27日（月）11時30分から明治記念館（東京都港区元赤坂）において授与式を行い、翌28日（火）に、天皇皇后両陛下の御接見を賜る予定です。

### 人事院総裁賞とは

多年にわたる不断の努力や国民生活の向上への顕著な功績等により、公務の信頼を高めることに寄与した国家公務員（個人又は職域）を年1回表彰するものです。受賞者の職務に精励する姿を通じて公務に対する国民の皆様の御理解をいただくことも目的としています。

受賞者は、各界有識者からなる選考委員会が各府省等から推薦された候補について厳正な審査・選考を行い、その結果に基づいて人事院総裁が決定します。

### 【個人：1名】

初心者でも簡単な捕獲方法を考案

林野庁  
近畿中国森林管理局  
計画保全部 保全課  
保護係長

こばやし まさのり  
小林 正典



▲新型くり罠を開発する様子

シカ等の野生鳥獣による農林業への被害軽減に資するため、初心者でも簡単に罠を設置でき捕獲効率も高い、新たな野生鳥獣（シカ、イノシシ）の捕獲方法を考案。管轄域のみならず全国に普及活動を展開し、農林業の重要課題である獣害対策に大きく貢献



▲罠を設置する様子

## 【職域：4グループ】

### 新型コロナワクチン接種に大きく貢献

デジタル庁 国民向けサービスグループVRSチーム

国・地方・民間など様々な出身のメンバーが一丸となって「ワクチン接種記録システム（VRS）」を開発・運用し、接種記録をリアルタイムに把握可能とするなど、円滑なワクチン接種に大きく貢献。また「新型コロナワクチン接種証明書アプリ」により、誰でも簡単に証明書の電子申請等が可能となるなど、行政サービスの利便性向上に大きく貢献



▲チーム内の会議の様子



▲ワクチン接種記録をVRSに登録する様子



▲接種証明書アプリのイメージ

### 「犯罪に戻らない、戻さない」社会づくりに大きく貢献

法務省 広島刑務所 尾道刑務支所 有井構外泊込作業場

塀などの物的戒護がない開放的処遇施設において、50年もの間、逃走事故を発生させることなく、受刑者に対し、地域社会の一員として受け入れられ、認められる経験を積ませることで、「犯罪に戻らない、戻さない」社会づくりに大きく貢献



▲有井構外作業場全景



▲寮内の居室の様子



▲工場の様子

### 国産花きを世界にアピール

農林水産省 農産局 園芸作物課 花き振興グループ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会において、暑熱下という厳しい環境の中、ビクトリーブーケなどの国産花きの提供等を実施。東日本大震災の被災地をはじめとした国産花きの品質の高さ及び復興のシンボルとして世界へのアピールに成功し、国内花き産業の振興に大きく貢献



▲制作途中のビクトリーブーケ



▲ビクトリーブーケに使用された  
岩手県産リンドウ



▲メインプレスセンターにおけるいけばな展  
示の制作風景

100年以上気象業務を継続

気象庁 大気海洋部 業務課 父島気象観測所

明治29年以降、終戦後の米国統治下にあった期間を除き気象業務を継続。厳しい生活環境の中で、北西太平洋上の観測空白域を埋める数少ない観測点として観測業務を実施。貴重な気象データの収集や、自治体への情報提供を通じ、公務の信頼の確保と向上に大きく貢献



▲令和4年度の観測所職員



▲台風接近時の海上の様子。  
手前は観測機器。



▲高層気象観測の気球  
を放球する様子

令和4年度人事院総裁賞選考委員

(敬称略)

(委員長) つくだ かずお  
佃 和 夫  
あい はら り き  
粟飯原 理 咲  
い し ど な な こ  
石 戸 奈々子  
  
ところ ちはる  
所 千 晴  
  
な か え ゆ り  
中 江 有 里  
は し づ め く に ひろ  
橋 詰 邦 弘  
み や じ ま か ず み  
宮 島 香 澄

三菱重工業株式会社名誉顧問

アイランド株式会社代表取締役

NPO法人CANVAS理事長

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所教授

早稲田大学理工学術院創造理工学部／研究科教授

東京大学大学院工学系研究科教授

作家・女優

共同通信特別論説委員

日本テレビ報道局解説委員

以上7名

以 上

問 合 せ 先	人事院事務総局 総務課長	長谷川一也	
		総務課長補佐(調整班)	大角 豊
		電話(03)3581-5311 (内線 2105)	
		(03)3581-2772 (直通)	